

マスコミ各位

平成30年9月3日（月）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：久高、仁平

電 話：098-866-2215

県内の年間梅毒患者報告数が、1999年以降で最多となりました。

～梅毒は、早期発見・早期治療が重要です！

そして、パートナーと一緒に検査と治療を受けることが大切です！～

1 概要

国内の梅毒患者の発生状況は、1999年以降は感染症発生動向調査事業により把握されています。国内全体での報告数は、2010年以降、増加に転じていますが、本県においても1999～2010年までは2～11例であった患者数が、2011年以降、増加し、2017年は43例（男性：35例、女性：8例）と、1999年以降では最多の患者数が報告されました。そして、今年、8月31日時点で47例（男性：39例、女性：8例）と、既に昨年を超える数が報告されています。

梅毒は感染後3～6週間程度の潜伏期間を経て、経時的に様々な臨床症状が逐次出現します。そして、その間に症状が軽快する時期があるため、自らの感染に気がつきにくい感染症です。

検査は医療機関の他、保健所では無料・匿名で実施していますので、是非一度、検査を受けていただくようお願いします。また、梅毒は治療できる感染症ですが、再感染します。そのため、自身だけではなく、パートナーと一緒に検査・治療を受けることが重要です。

2 梅毒：5類感染症

梅毒トレポネーマという細菌による感染症です。感染経路は性的接触（疑似性行為を含む）、血液を介しての感染（注射器具の共用など）、母子感染があり、現在はほとんどが性的接触による感染です。

梅毒は、以下の通り経時的に様々な臨床症状が逐次出現し、その間に症状が軽快する時期があるため、自らの感染に気がつきにくい感染症です。

早期顕症梅毒 第Ⅰ期：感染後3～6週間程度で、菌が侵入した局所に、痛みがほとんどないしこりや潰瘍ができたり、リンパ節が腫れる等します。これらは治療をしなくても数週間でなくなります。

早期顕症梅毒 第Ⅱ期：更に4～10週間が経過すると、手のひらや足の裏を含む全身の皮膚や口腔内に発疹が出現したり、脱毛、発熱や怠さなどの全身症状が出ます。これらも治療をしなくても数週間～数か月でなくなります。

晩期顕症梅毒：第Ⅱ期の症状は再発することもあります。それでも治療せずに数年～数十年が経過すると、体にコブ状のしこりが出来たり、心臓や血管系の症状が出る他、認知症、手足の痙攣、体の麻痺などへ進行する場合があります。

また、妊婦が梅毒に感染していると、胎児へ感染し、流産や死産、出生後の赤ちゃんに難聴や歯の発育異常などの障害が出る原因となります（**先天梅毒**）。

予 防：感染者、特に感染力の強い第Ⅰ期及び第Ⅱ期の感染者との性的接触を避けることが基本です。性的接触は特定のパートナーと行うことが重要です。また、コンドームの使用は完全でないものの、予防効果があります。

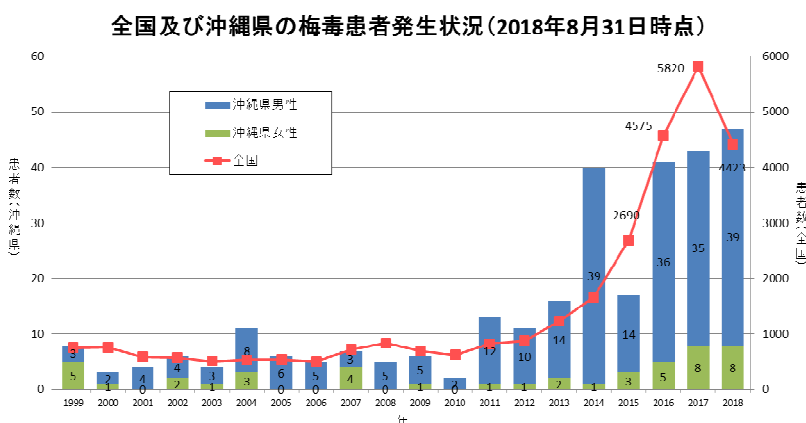
検 査：医療機関で受検することができます。また、県内の保健所では、無料・匿名で検査を受けることができます。保健所の検査は事前に予約が必要です。日程については別添の参考資料の「6. 保健所 HIV、梅毒、クラミジア検査スケジュール（通常）」をご確認ください。保健所では、梅毒と同じく性的接触により感染する HIV、クラミジアの検査を受けることができますので、同時に受検するようお願いします。

治 療：抗菌薬が有効です。しかし、梅毒は再感染するため、自身が治療をしても、パートナーが感染したまましていると、再び感染します。そのため、パートナーと一緒に検査・治療を受けることが重要です。

3 梅毒の患者発生状況

梅毒患者は、1999 年以降は感染症発生動向調査事業により、診断した全ての医療機関より報告されます。

2018 年は、8 月 31 日時点で 47 名の患者が報告されており、男性が 39 例（年齢は 10 代 1 名、20 代 10 名、30 代 13 名、40 代 6 名、50 代以上 9 名）、女性が 8 例（年齢は 20 代 3 名、30 代 3 名、40 代 2 名）となっています。また、推定感染経路は、46 名が性的接触（同性間 15 名、異性間 25 名、不明 6 名）、1 名が不明となっています。



本県の梅毒患者発生状況については、下記のホームページもご参照ください。

沖縄県感染症情報センター

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/haseidoukou.html#ha>

国立感染症研究所：2011～2017 年の沖縄県における梅毒患者発生状況

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrd/7920-457d02.html>

4 参考

厚生労働省：梅毒に関するQ & A

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

国立感染症研究所：梅毒とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis.html>

5 その他の性感染症情報

【HIV 感染症の発生状況：5類感染症】

本県において、2018年は8月31日時点で14名（HIV感染者10名、エイズ患者4名）が報告されており、男性が13名、女性が1名です。詳細は別添の参考資料をご確認ください。

上述のとおり、HIVについても、保健所で無料・匿名で検査を実施しています。梅毒と同様に主な感染経路が性的接触ですので、梅毒と同時に受検されることをお勧めします。

【A型肝炎の発生状況：4類感染症】

A型肝炎ウイルス（HAV）による感染症で、主な症状は一過性の急性肝炎です。HAVは糞便中に排泄されるため、それに汚染された食物や水を摂取することで感染します。そのため、国内では経口感染が多く、また、海外旅行先での感染がみられます。

2018年7月18日、厚生労働省より以下の内容が通知されました。

- A型肝炎患者の報告数が、例年に比して増加していること
- A型肝炎の感染経路として、食事等による経口感染の他に、性的接触があること
- 2018年第1週～第24週の報告例において推定される感染経路として、性的接触が多いこと。

本県においても今年は8月31日時点で5名の患者が報告されており、そのうち3名が性的接触による感染と推定されています。

A型肝炎の予防方法は手洗いの励行です。また、任意接種ですが予防接種がありますので、流行国への渡航前等には、接種をお勧めします。

A型肝炎患者の発生状況（2010～2018年）

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018※
全 国	347	176	157	128	433	243	272	285	700
沖縄県	0	1	0	0	3	3	1	4	5

※2018年は8月31日時点

参考

厚生労働省：A型肝炎患者の報告数増加に伴う注意喚起について（協力依頼）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000346520.pdf>

国立感染症研究所：A型肝炎とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/320-hepatitis-a-intro.html>

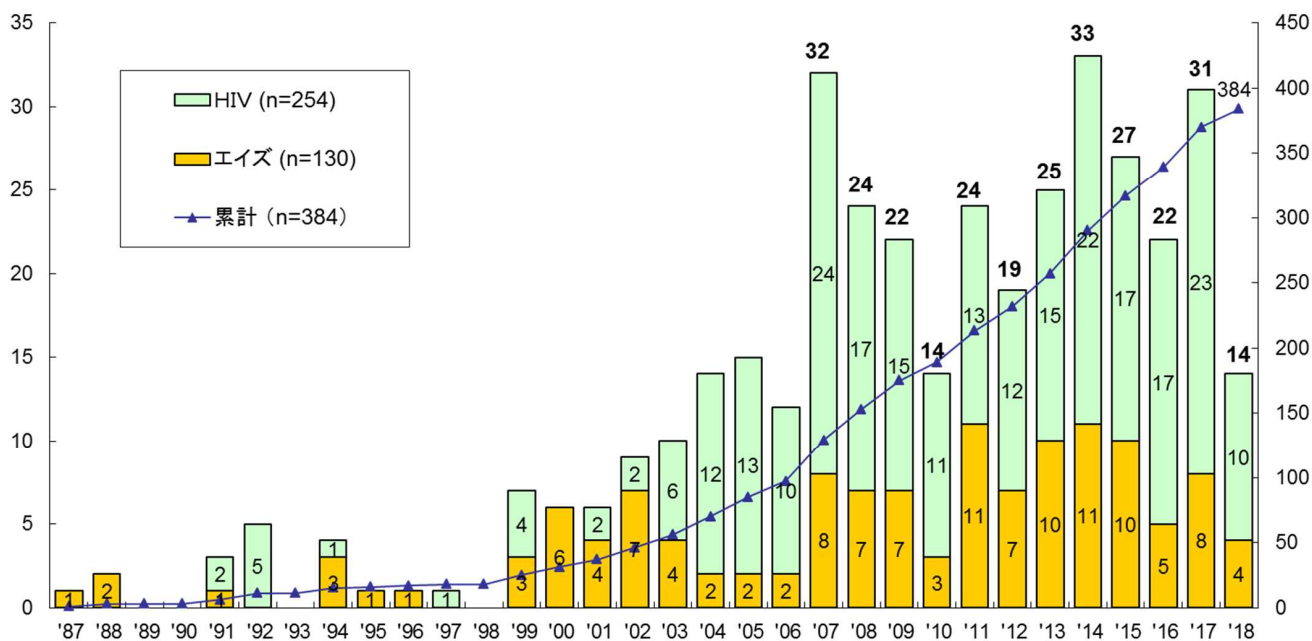
参考資料

エイズ(AIDS)について

- エイズは、「後天性免疫不全症候群」ともいい、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染することによっておこる病気です。
- HIVに感染してから2～3週間すると、軽い風邪のような症状がでることがあります。この症状は数日～10週間くらい続き、ほとんどの場合は自然に消えてしまいます。
- その後、数年～10年間くらいは何も症状はありませんが、体の中でHIVがひそかに広がっています。
- 何も治療をしないでいるとさらに進行し、微熱や下痢が続いたり、リンパ節が腫れたり、肺炎などを起こします。
- このような状態になると「エイズを発症した」「エイズになった」といいます。
- 感染経路は、①性行為、②血液を介しての感染(注射器具の共用など)、③母子感染の3つです。
- 検査と治療
 - ・検査：保健所等で無料、匿名で受検できます。
 - ・治療：陽性者には、県内の専門医療機関を紹介します。
現在では、早期発見・治療により発症を防ぐことが可能です。
感染者でも発症を防ぐことにより、通常の生活ができます。
- 予防
HIV感染の80%以上は性行為によるもので、コンドームを正しく使用することで予防できます。

1. HIV感染者／AIDS患者の届出状況

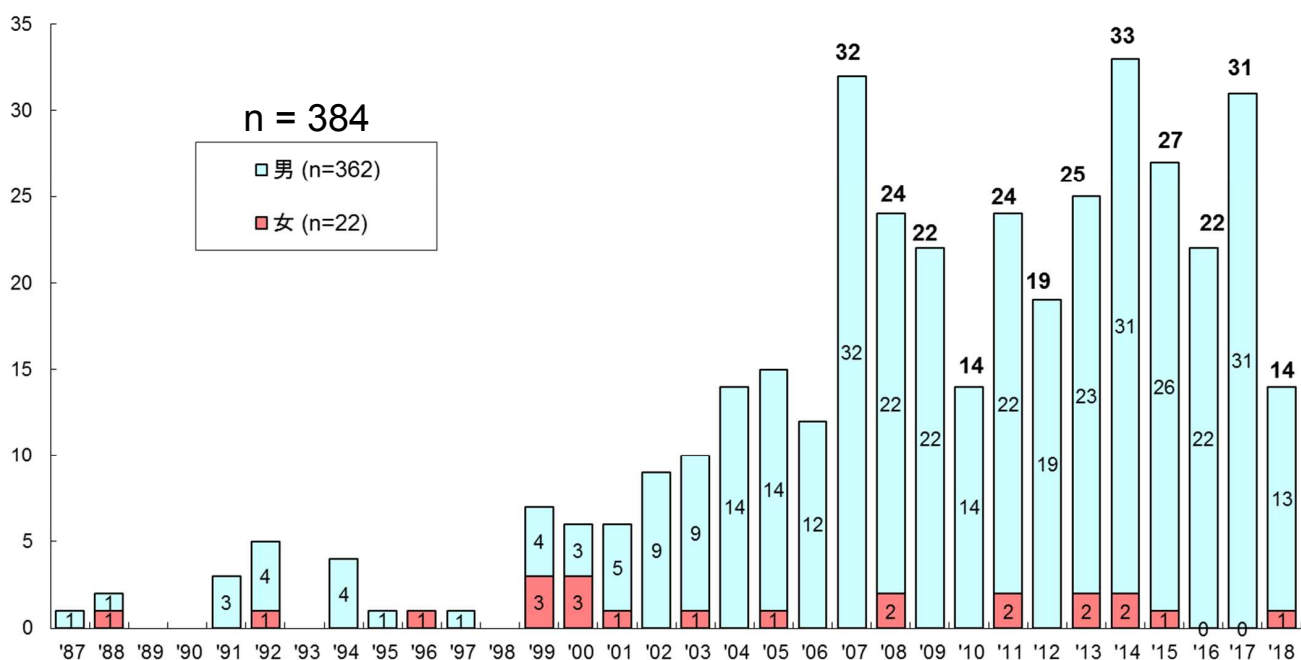
- 累計は384件（1987-2018年8月31日時点）
- 沖縄県は平成18年度より重点対策指定自治体（計20自治体）に選定されている



※診断日に基づく集計（2018年は8月31日時点）

2. 男女別

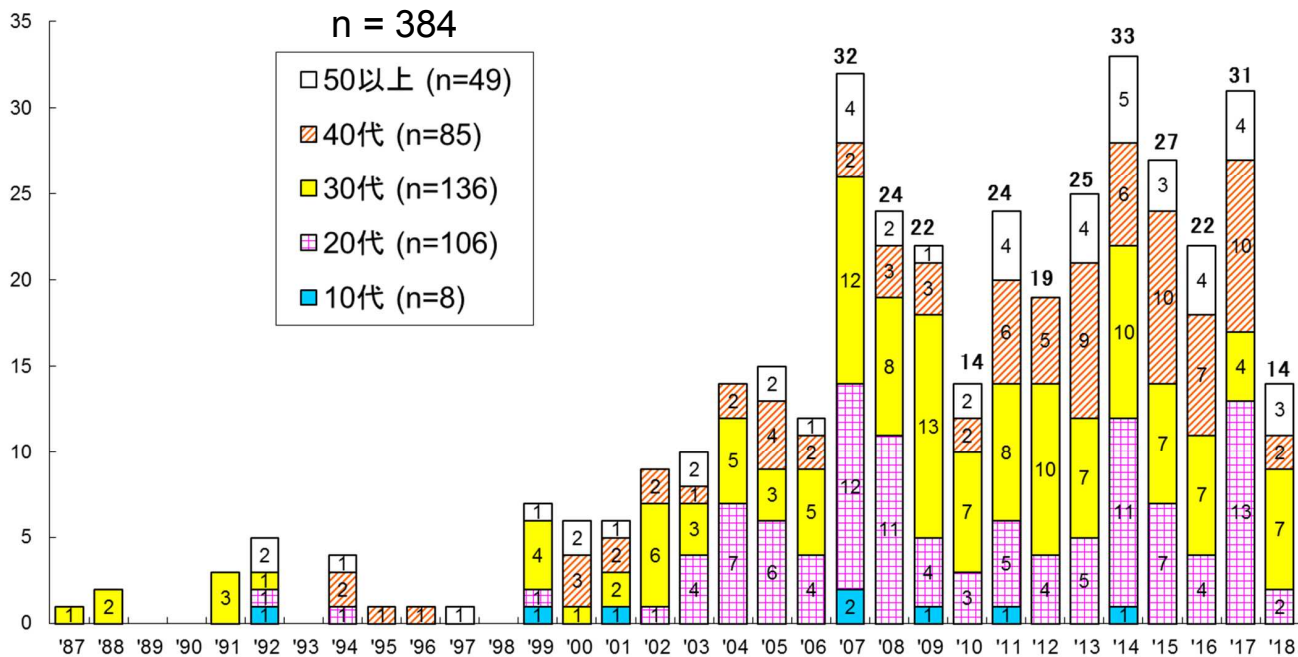
- 2018年（8月31日時点）は、男性13件、女性1件
- 累計では男性が94%を占めている（男性362件、女性22件）



※診断日に基づく集計（2018年は8月31日時点）

3. 年代別

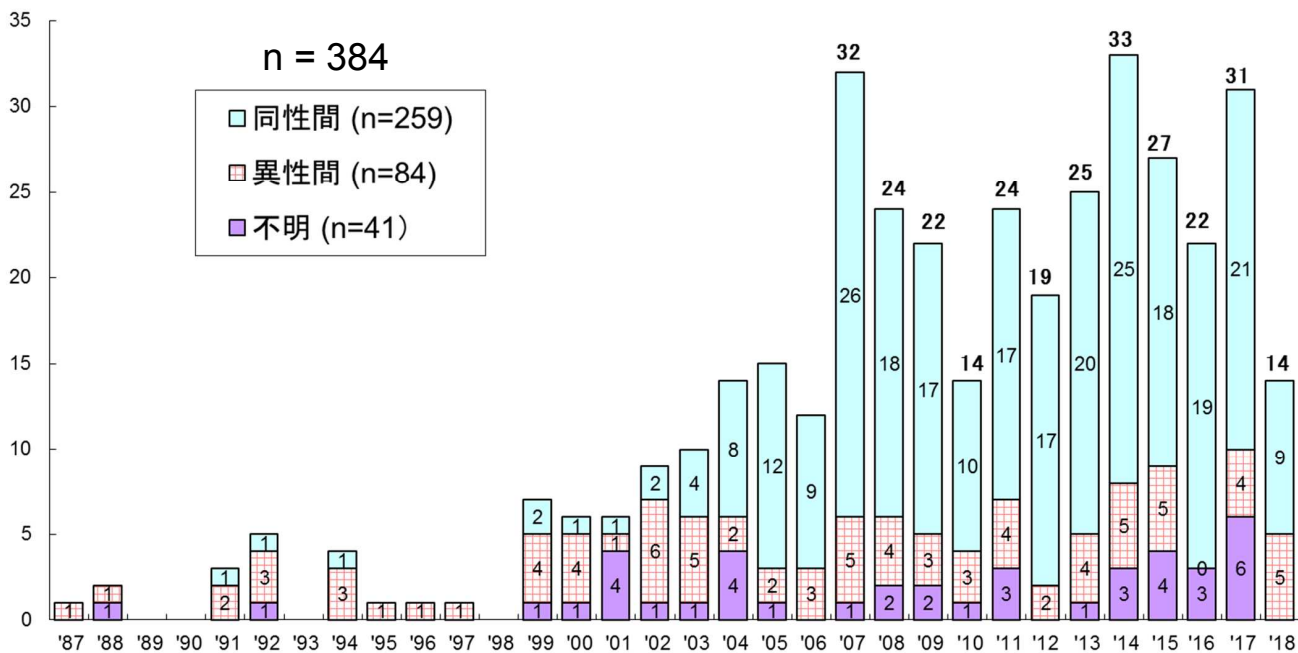
- 20～50代に幅広く分布している



※診断日に基づく集計（2018年は8月31日時点）

4. 感染経路別

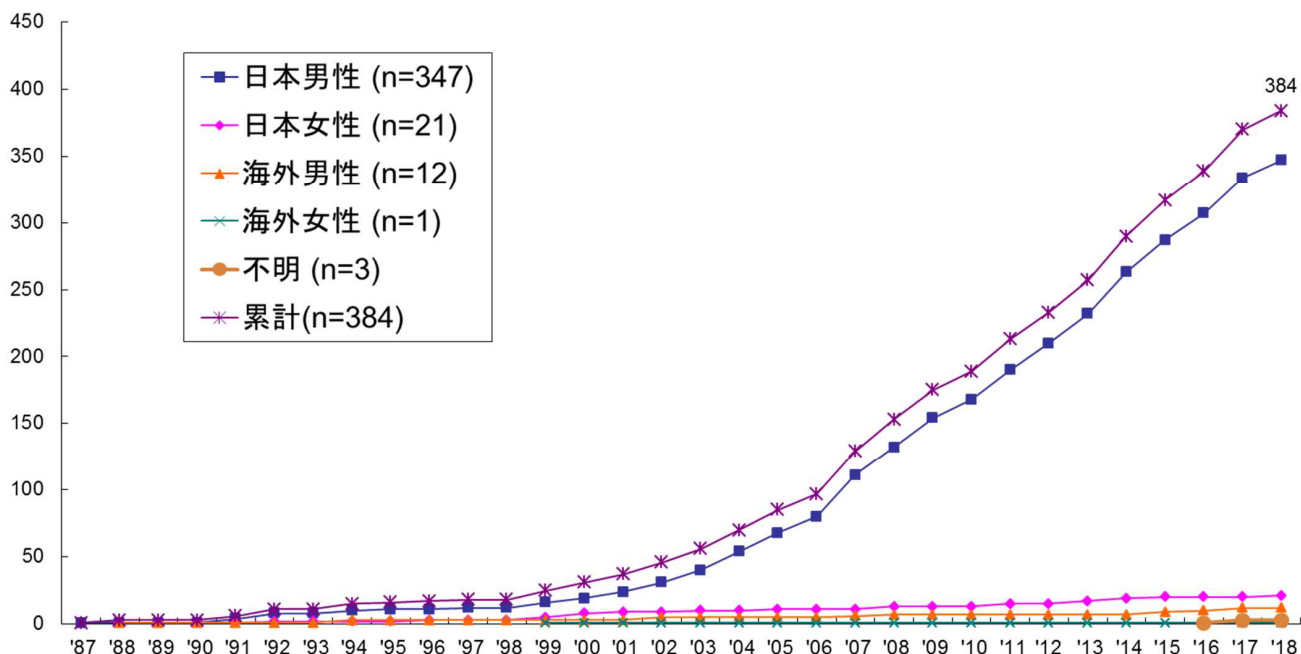
- 2005年以降、男性同性間性的接触が約6割～9割を占めている
- 異性間性的接触での感染も続いている



※診断日に基づく集計（2018年は8月31日時点）

5. 国籍別

- ・日本人男性が増加している



※診断日に基づく集計 (2018年は8月31日時点)

6. 保健所HIV、梅毒、クラミジア検査スケジュール (通常)

平成30年度HIV検査日程

検査・相談機関名	問合先電話番号	実施日	時間	即日・通常	夜間	予約	備考
北部保健所	0980-52-5219	火、木	9:00~11:00、13:00~15:00 ※男性のクラミジア検査希望の場合 午前中の受付は10:30まで	即日		必要	
中部保健所	098-938-9701	火	9:00~10:30、13:00~14:00	即日		必要	
南部保健所	098-889-6591	火、木	9:00~10:30、13:00~15:00	即日		必要	
宮古保健所	0980-73-5074	火、木	9:00~11:00、13:00~15:00	即日		必要	
八重山保健所	0980-82-3240	月、水、金 火、木	9:00~11:00、13:00~15:00	通常 即日		必要	
那覇市保健所	098-853-7971	月、水、金 第1水曜日	9:30~11:30 13:00~15:00 17:00~20:00	即日 即日	○	必要	

即日検査・・・問診、採血を実施し、1~2時間後に結果をお知らせします。

通常検査・・・問診、採血を実施し、後日結果をお知らせします。